

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム みずまき作成日: 平成 29 年 9 月 21 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員一人ひとりが、理念の意義や目的が理解できるように見やすい場所に掲示しているが、理念に基づいたケアが来ているかを確認し、利用者の笑顔に繋がる介護サービスに取り組んでいく。	朝の申し送り時や職員会議の中で、理念について職員間で話し合い、理念に基づいた介護の在り方を検討し、職員の意識の高揚に繋げていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	職員不足を補うために派遣社員の導入を実施しているが、勤務時間に制約があるので、正規職員を増員し、職員一人ひとりの介護技術の向上と意識の高揚に取り組んでいく。	職員の介護経験年数や習熟度に合わせて外部の研修会に派遣し、伝達研修で職員に報告して貰い、知識を職員全員で共有して、利用者が満足できる介護サービスの提供を目指していく。	12ヶ月
3	56	居心地よく過ごせる居室の配慮	馴染みの使い慣れた日用品や家具の持ち込みが、利用者によって差があり、居心地の良さにも表れているので、オムツを見えない場所で保管したり、室内の清掃にもう少し気配りするなどして、利用者が穏やかに安心して暮らせる居室を目指していく。	利用者が自宅で暮らしていた時のように、生活環境が急変しないように入居前に自宅を下見する等、利用者がホームの中で生き生きと暮らせる環境整備に取り組む。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。